

21世紀に向けて岩室村の道しるへ(第四次総合開発計画)を



岩室村長 鷲沢 越弥

年頭のごあいさつ

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
今年こそは良い年であって欲しいと誰しも願うところでありますが、昨年は、銀行・証券会社などの倒産と、私どもには考えも及ばない経済界の恐慌続きでありました。
そんな中、私どもも、農家の皆様から生産調整百パーセントのご協力をいただきながら、その成果を得ることができず、米価の暴落

という結果に結びついてしまいました。今年は、どのようにして皆様に生産調整のお願いをすればいいのか、思案の迷うところでありました。しかし、この苦境を乗り越えなければ、我が国農業の将来はないものと思われまふ。村をあげて取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうか皆様の絶大なご協力をお願いいたします。
おかげ様をもちまして、平成三年度より着工されました国営大通川放水路工事も順調に進み、先般富岡工区の用地買収も完了することができました。したがって、放水路工事に伴う基盤整備事業も着工される運びとなります。
また、昨年十月末に開館いたしました村立図書館も、予想以上のご利用をいただき喜んでおりますのでありますが、今後、益々内容の充実を図ってまいりますので、一層のご利用をお願いいたします。次に、平成七年度から着工いた

しました岩室温泉源泉事業も、泉質などの関係で色々難題がございましたが、ようやく納得いただける温泉になりました。おかげ様で利用客も、前年度に比べ約九パーセント強増しております。
さて、新年度に向かっての事業でありますが、まず、本村の第四次総合開発計画の策定であります。二十一世紀の展望を踏ることないうよう真剣に取り組んでいこうとありますが、成案を得て、十二月議会にご提案申し上げる予定でありますので、ご協力をお願いいたします。
また、和納小学校の給食棟を建築したいと考えております。和納小学校新築当時は、財政的に無理な状況でありましたので、ここまで遅れてまいりましたが、今年、是非完成したいと思っております。また、老朽化している岩室中学校体育館の改修も計画しておりますので、よろしくお願

いたします。
それから、かねがね皆様からご要望をいただいております、旧和納小学校グラウンド整備であります。ですが、「公園などにしたらどうか」など、いろいろご提案をいただいておりますが、せっかく暗渠工事なども施してありますので、グラウンドとして整備をさせていただき、子どもたちの遊び場として利用していきたいと考えております。
平成十年は、救急医療センターの問題や、介護保険関連の取り組みなど、難問が山積しております。挙村一致、皆様方のご協力をいただきながら、岩室村の発展に寄与してまいりたいと決意を新たにいたしております。

今年(寅年)は寅は干支の三番目、食肉目ネコ科の動物です。ライオンが「アフリカの百獣の王」なら、虎は「アジアの百獣の王」です。ウスリー(ロシアと中国の国境地帯)、中国大陸、朝鮮半島、東南アジアなど、温帯から熱帯地方にかけて広く生息していますが、日本列島には野性の虎はいません。日本の文献に初めて虎が登場したのは、「日本書紀」で、欽明天皇の六年(五四五年)に、百濟で虎退治をして、その皮を日本に持ち帰った人がいるということが記されています。生きた虎が日本にきたのは寛平二年(八九〇年)といわれ、その後、江戸時代には、虎を見せ物として江戸・大坂(大阪)などを回っていたようです。
多くの人が虎を見られるようになったのは、動物園が普及するようになってからです。しかし、虎はことわざなどによく登場し昔から親しまれています。

丑から寅へ



福祉社会実現に向け

皆様のご協力を



岩室村議会議長 早川 喜三郎

年頭にあたり

村民の皆様、新年あけましておめでとごさいます。
旧年中は、色々とお世話様に相成り、心から厚くお礼申し上げます。
昨年、新春早々より日本海で発生した重油流出事故のため、私ども岩室村間瀬海岸も、様々な面で影響が懸念されましたが、村民各位のご協力のおかげで、観光・漁業ともに被害を受けず終結することができ、一安心したところであります。

さて、自治省消防庁よりモデル広域消防の指定を受け、西蒲原郡四町村(吉田町、分水町、弥彦村、岩室村)及び三島郡寺泊町を加えた五町村で構成する新潟県西部広域消防事務組合が、四月一日発足しました。現在、新本部庁舎が吉田町浜首地区において、建設が進められておりますが、近代的な防災拠点として、地域の安全をより確実なものにするため、さまざまな整備を備えておりますので、村民の皆様のご期待に添えてくれるものと思われまふ。
また、新潟県消防大会が八月岩室村で初めて開催されましたが、悪天候にもかかわらず無事終了することができました。ご協力をいただきました村民各位には、あらためてお礼申し上げます。
十月には、農協の広域合併の話し合いが進む中、岩室村農協も平成十年二月一日より西蒲原九農協とともに新たに発足する旨総会の

場において議決されました。このことは、今後の岩室村農業発展の足がかりとしておおいに期待されるものであり、役・職員及び組合員一層のご努力を、併せて期待したいところでもあります。
次に、岩室村が平成八年より建設を進めてまいりました岩室村立図書館が完成し、十月三十日竣工式が行われました。今後は、生涯学習の拠点として、知識の向上とコミュニケーションの場として、ご家族揃って、楽しんで利用していただきたいと思います。
今年から、岩室村ねたきり老人等介護手当支給条例の施行により、在宅介護手当を支給いたしますことになりました。今後更に福祉行政に意を注いで行く所存でありますので、各位のご協力をお願いいたします。また、広域下水道事業も着々と準備に入っております。住みよい村づくりを目指し、社会資本の整備については、積極的に取

り組んでいきたいと考えております。
景気の動向が未だ不透明な中、山積する諸問題に対し、村民各位のご理解をいただきながら、議会として対応していきたくと考えておりますので、村民各位のご協力をお願い申し上げます。議事を代表して新年のごあいさつとさせていただきます。



岩室村デイサービスセンター

だれでも知っている「虎の子」は、大切なもの、秘蔵のものということ。「虎穴に入らずんば虎児を得ず」も、虎の子が貴重なものという意味から、危険を冒さなければ(虎の住んでいる穴に入らなければ)成功は得られないということ。
「虎刈り」は、丸刈りがはやらなくなつたので、最近あまり見かけません。「虎の巻」は、もともと兵法の秘伝を記した書物のこと。以前は、学生さんなどが参考書などをこう呼んだものですが、この言葉もはやらなくなりました。また、虎は強いもの、恐ろしいものたえにもよく使われます。「虎視眈眈」「虎の威をかる狐」「虎の尾を踏む」「虎は千里往って千里還る」「虎は飢えても死肉を食わず」「虎は死して皮を残す」など、枚挙にいとまがありません。ただし、酔っ払いの大トラはいただけません。
いずれにしても、昨年は明るい話題の少ない年でした。今年も虎のように、威勢よく頑張りたいものです。

